

# 13 下 水 道

1. 事 業 計 画  
〔第6～7期：多治見・市之倉・笠原処理区分〕
2. 事 業 計 画  
〔第1期～第5期：多治見・市之倉処理区分〕
3. 事 業 計 画  
〔第1期・第2期：笠原処理区分〕
4. 施 設 整 備 状 況
5. 下 水 道 普 及 率
6. 水洗化の融資あっせん・利子の補助
7. 受 益 者 負 担 金
8. 使 用 料 金
9. し 尿 処 理 関 係
10. 合 併 処 理 浄 化 槽
11. 下水道事業会計決算の推移

# 1. 事業計画（第6～7期：多治見・市之倉・笠原処理区分）

## (1) 計画概要

区 分	第6期計画	第7期計画	全体計画
処 理 区 域	3,002.0ha	3,065.0ha	3,351.0ha
排 除 方 式	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式 (一部合流式)
処 理 人 口	112,050人	102,900人	90,500人
日最大汚水量	53,465m <sup>3</sup>	46,053m <sup>3</sup>	40,900m <sup>3</sup>
管 路 延 長	73,530m	73,530m	—
中継ポンプ場	5	5	5
場内ポンプ場	1	1	1
雨水ポンプ場	3	3	3
処 理 場	3	3	2

## (2) 計画年次

- ・第6期計画 昭和44年度～平成29年度
- ・第7期計画 昭和44年度～令和 5年度
- ・全体計画 令和17年度 目標

## (3) 計画事業費（全体計画事業費）

- ・管渠布設 49,268,822千円
- ・ポンプ施設 10,976,535千円
- ・処理施設 32,759,002千円
- 合 計 93,004,359千円

## (4) 処理開始年月日 昭和52年4月1日

※旧多治見市と旧笠原町の事業計画を第6期計画で統合しました。

## 2. 事業計画（第1期～第5期：多治見・市之倉処理区分）

### (1) 計画概要

区 分	第1期計画	第2期計画	第3期計画	第4期計画	第5期計画
処 理 区 域	151.0ha	648.0ha	1,480ha	2,325ha	2,433ha
排 除 方 式	合 流 式	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式 (一部合流式)
処 理 人 口	25,000人	40,500人	72,500人	92,000人	111,800人
日最大汚水量	12,550m <sup>3</sup>	29,517m <sup>3</sup>	38,732m <sup>3</sup>	51,707m <sup>3</sup>	56,037m <sup>3</sup>
管 路 延 長	35,828m	171,080m	363,479m	553,466m	86,776m
中継ポンプ場	—	—	2	3	3
場内ポンプ場	1	1	1	1	1
雨水ポンプ場	—	—	—	1	2
処 理 場	1	1	1	2	2

区 分	全体計画
処 理 区 域	2,958ha
排 除 方 式	分 流 式 (一部合流式)
処 理 人 口	129,500人
日最大汚水量	66,718m <sup>3</sup>
管 路 延 長	—
中継ポンプ場	3
場内ポンプ場	1
雨水ポンプ場	2
処 理 場	2

※第2期～第5期計画については第1期計画からの累計。

### (2) 計画年次

- ・第1期計画 昭和44年度～昭和54年度
- ・第2期計画 昭和44年度～昭和62年度
- ・第3期計画 昭和44年度～平成5年度
- ・第4期計画 昭和44年度～平成16年度
- ・第5期計画 昭和44年度～平成23年度

### (3) 計画事業費（第1期計画～第5期計画）

- ・管渠布設 33,412,902千円
- ・ポンプ施設 5,738,484千円
- ・処理施設 20,916,943千円
- 合 計 60,068,329千円

### (4) 処理開始年月日 昭和52年4月1日

### 3. 事業計画（第1期・第2期：笠原処理区分）

#### (1) 計画概要

区 分	第1期計画	第2期計画	全体計画
処 理 区 域	304.0ha	518.0ha	518.0ha
排 除 方 式	分 流 式	分 流 式	分 流 式
処 理 人 口	8,240人	12,000人	12,180人
日最大汚水量	3,850m <sup>3</sup>	6,310m <sup>3</sup>	7,090m <sup>3</sup>
管 路 延 長	5,270m	7,177m	
中継ポンプ場	—	—	—
場内ポンプ場	1	1	—
雨水ポンプ場	—	—	—
処 理 場	1	1	0

※第2期計画については第1期計画からの累計

#### (2) 計画年次

- ・第1期計画 平成5年度～平成20年度
- ・第2期計画 平成5年度～平成23年度

#### (3) 計画事業費（全体計画事業費）

- ・管渠布設 7,293,968千円
- ・処理施設 8,068,662千円
- 合 計 15,362,630千円

#### (4) 処理開始年月日 平成12年8月1日

## 4. 施設整備状況

### (1) 管渠施設

- ・整備区域 2,531ha
- ・管渠延長 656km

### (2) 水処理及び汚泥処理施設

#### ◎ 池田下水処理場

##### 合流系

- |              |  |
|--------------|--|
| ① 沈砂池        | 粗目スクリーン 目幅100mm 雨水用2基 汚水用3基<br>バケットコンベア式沈砂掻揚機 汚水用2基 雨水用2基<br>走行式水中ポンプ揚砂装置 汚水用1基<br>細目自動除塵機 目幅35mm 雨水用4基<br>目幅20mm 汚水用6基<br>脱臭設備 活性炭吸着式 脱臭風量120m <sup>3</sup> /分 1基   |
| ② 雨水ろ過設備     | 上向流式簡易型繊維ろ過 37,000m <sup>3</sup> /日  |
| ③ 最初沈殿池      | フライト付ダブルチェンコンベア、スカムスキマー付 3系列   |
| ④ エアレーションタンク | 固定吊下式散気筒 }4系列  |
| ⑤ 最終沈殿池      | フライト付ダブルチェンコンベア  |
| ⑥ 塩素混和池      | 迂回流式 (3列)  |
| ⑦ 合流滅菌棟      | 鉄筋コンクリート造平屋 44.27m <sup>2</sup><br>次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ 3台  |
| ⑧ 管理棟        | 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階 地下1階建<br>建築面積442m <sup>2</sup> 延床面積1,545m <sup>2</sup><br>研修室、電気室、制御室、水質試験室<br>ブロワー室……多段ターボブロワー<br>風量50m <sup>3</sup> /分 2台<br>風量84m <sup>3</sup> /分 1台  |
| ⑨ ポンプ棟       | 鉄筋コンクリート造地上1階 地下2階建<br>建築面積827m <sup>2</sup> 延床面積2,382m <sup>2</sup><br>ポンプ室……汚水ポンプ 口径φ 500mm 33m <sup>3</sup> /分 2台<br>φ 800mm 75m <sup>3</sup> /分 2台<br>雨水ポンプ 口径φ 1,100mm 142m <sup>3</sup> /分 2台<br>口径φ 1,100mm 212m <sup>3</sup> /分 1台<br>発電室……自家発電機 6600V 2,000kVA 1台<br>電気室……受変電設備 |
| ⑩ 汚泥処理棟      | 鉄筋コンクリート造地上2階 地下1階建<br>建築面積510m <sup>2</sup> 延床面積1,647m <sup>2</sup><br>電気室<br>脱水機室……パッケージ型遠心脱水機 10m <sup>3</sup> /時 1台<br>15m <sup>3</sup> /時 3台<br>汚泥濃縮槽……重力濃縮式円型φ12.2m 2基   |

- ⑪ 脱 臭 棟 軽量鉄骨ALC板造平屋建 床面積134m<sup>2</sup>  
酸・アルカリ洗浄＋活性炭吸着式 脱臭風量110m<sup>3</sup>/分
- ⑫ 用 水 施 設 砂ろ過設備 600m<sup>3</sup>/日 3基
- ⑬ 右岸ポンプ場電気棟 鉄筋コンクリート造平屋 174m<sup>2</sup>  
電 気 室……受変電設備

分流系

- ①沈砂池ポンプ棟 鉄筋コンクリート造地上1階 地下2階建  
延床面積1,519m<sup>2</sup>  
汚水用1池 バケットコンベア式沈砂掻揚機 1基  
細目自動除塵機 目幅20mm 1基  
脱臭設備……活性炭吸着式 脱臭風量 64m<sup>3</sup>/分 1基  
ポンプ室……汚水ポンプ 口径φ350mm 12m<sup>3</sup>/分 2台  
φ400mm 18m<sup>3</sup>/分 1台
- ② 最 初 沈 殿 池 フライト付ダブルチェンコンベア、スカムスキマー付 }  
③ エアレーションタンク 水中機械攪拌機、立形パドル形攪拌機、散気板 } 3系列  
④ 最 終 沈 殿 池 フライト付ダブルチェンコンベア、スカムスキマー付 }  
⑤ 塩 素 混 和 池 迂回流式(2列)
- ⑥ 滅 菌 棟 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 51m<sup>2</sup>  
次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ(比例注入式) 2台
- ⑦ 管 理 機 械 棟 鉄筋コンクリート造地上4階 地下1階建  
建築面積1,046m<sup>2</sup> 延床面積3,393m<sup>2</sup>  
中央制御室  
事務室  
ブロワー室……多段ターボブロワー 36m<sup>3</sup>/分 2台  
76m<sup>3</sup>/分 2台  
電 気 室……受変電設備 契約電力 960kW  
発電機室……自家発電機 6,600V 1,500kVA 2台  
機械濃縮機……20m<sup>3</sup>/時×18.7kg 2基  
生物脱臭装置……充填塔式生物脱臭＋活性炭吸着方式 20m<sup>3</sup>/分

その他の施設

- ①再生可能エネルギー利用施設  
小水力発電施設……縦軸アルキメデス水車 3.7KW  
太陽光発電施設……太陽光パネル 30KW  
パワーコンディショナー 10KW×3台

- ②そ の 他 壁面及び噴水、場内緑化

◎ 市之倉下水処理場

- ① 回 分 式 反 応 槽 鉄筋コンクリート造地上1階 地下1階建  
建築面積137m<sup>2</sup> 延床面積397m<sup>2</sup>  
曝気装置 水中機械攪拌式 2.2kW 12基  
3.7kW 12基  
送風機 ルーツブロワー 9m<sup>3</sup>/分 5台  
上澄水排出装置 8基

- ② 塩素混和池 迂回流式 (2列)
- ③ 滅菌棟 鉄筋コンクリート造平屋建  
建築面積70m<sup>2</sup>  
次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ (比例注入式) 2台
- ④ 管理機械棟 鉄筋コンクリート造地上2階 地下1階建  
建築面積640m<sup>2</sup> 延床面積1,412m<sup>2</sup>  
沈砂地ポンプ室……自動除塵機 目幅5mm 2基  
着脱式水中ポンプ  
口径 150mm 2.4m<sup>3</sup>/分 2台  
口径 200mm 4.6m<sup>3</sup>/分 2台  
脱水機室……パッケージ型遠心脱水機  
10m<sup>3</sup>/時 2台  
脱臭設備 活性炭吸着式  
40m<sup>3</sup>/分 1基  
電気室……受変電設備  
6,600V 変圧器 300kVA 2台  
発電機室……非常用発電設備 (420V 250kVA) 1台  
管理室……監視装置 1台  
反応槽コントローラー 4台
- ⑤ 汚泥濃縮槽 重力濃縮式円型 φ5.0m 2基
- ⑥ 用水施設 砂ろ過設備 200m<sup>3</sup>/日 2基

◎笠原下水処理場

- ① ポンプ棟 鉄筋コンクリート造地上2階地下1階建  
延床面積465m<sup>2</sup> 建築面積285m<sup>2</sup>  
汚水沈砂池……粗目スクリーン 2基  
揚砂装置 水中揚砂ポンプ 2台  
自動除塵機 目幅3mm 1台  
脱臭装置 活性炭吸着式 35m<sup>3</sup>/分 1基  
着脱式水中汚泥ポンプ  
口径200mm 4.7m<sup>3</sup>/分 3台
- ② 管理水処理棟 鉄筋コンクリート造地上3階建  
延床面積2,262m<sup>2</sup> 建築面積1,301m<sup>2</sup>  
水処理施設……加圧浮上槽 2槽 汚泥掻寄機 2基  
加圧水ポンプ 3台 好気性ろ床 4槽  
曝気ブロワ ルーツブロワ  
10m<sup>3</sup>/分 2台  
空洗ブロワ ルーツブロワ 3台  
逆洗ポンプ 3台  
脱臭設備 活性炭吸着式 50m<sup>3</sup>/分 1基  
塩素混和池……迂回流式 (2列)  
消毒設備  
次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ 2台  
(比例注入式) 2台  
管理室……監視盤 1式  
電気室……受変電設備 1式  
発電機室……非常用発電機 6,600V 300kVA 1台

③ 汚 泥 棟 鉄筋コンクリート造地上2階建  
 延床面積 835 m<sup>2</sup> 建築面積 429 m<sup>2</sup>  
 パッケージ型遠心脱水機 7m<sup>3</sup>/時 1台  
 脱臭設備 活性炭吸着式 4m<sup>3</sup>/分 1基

(3) 雨水排水ポンプ場

◎ 笠原川右岸ポンプ場

① ポンプ棟 鉄筋コンクリート造地上3階 地下1階建  
 建築面積 434m<sup>2</sup> 延床面積 1,176m<sup>2</sup>  
 立軸斜流ポンプ  
 口径 1,200mm 203m<sup>3</sup>/分 3台  
 自動除塵機 目幅 60mm 3台  
 受変電設備 1式  
 非常発電設備 420V 150kVA 1台  
 脱臭設備 活性炭吸着式 30m<sup>3</sup>/分 1基

② 調整池 鉄筋コンクリート造地下1階建  
 貯留容量 2,500m<sup>3</sup> 1池  
 脱臭設備 活性炭吸着式 30m<sup>3</sup>/分 1基

◎ 土岐川右岸ポンプ場

コラム型水中ポンプ  
 口径 1,200mm 166m<sup>3</sup>/分 3台  
 口径 1,350mm 216m<sup>3</sup>/分 2台 + 予備機 1台  
 自動除塵機 目幅 100mm 5台  
 変電・操作設備 1式

◎ 土岐川左岸ポンプ場

① ポンプ棟 鉄筋コンクリート造地上2階 地下1階建  
 建築面積 705m<sup>2</sup> 延床面積 1,139m<sup>2</sup>  
 立軸斜流ポンプ  
 口径 1,200mm 210m<sup>3</sup>/分 2台 + 予備機 1台  
 自動除塵機 目幅 100mm 2台  
 受変電設備 1式  
 非常発電設備 200V 250kVA 1台



## 5. 下水道普及率

(令和2年3月31日現在)

区分	㊤事業計画面積	㊦行政区内人口	㊨処理区域内面積	㊩整備区域内人口	㊪整備区域内戸数	普及率		水洗化			
						㊣	㊤	㊦水洗化人口	㊧水洗化戸数	普及率	
						／ ㊠ × 100	／ ㊡ × 100			㊦ ／ ㊤ × 100	㊧ ／ ㊪ × 100
	km <sup>2</sup>	人	km <sup>2</sup>	人	戸	%	%	人	戸	%	%
	33.51	109,816	25.34	104,746	44,689	75.61	95.38	97,882	41,655	93.44	93.21

## 6. 水洗化の融資あっせん・利子の補助

(1) 融資あっせん（市内の市指定金融機関（ゆうちょ銀行以外））

排水設備、水洗便所への改造工事資金として、最高100万円をあっせん。

利率 年8.0%以内（現 2.2%） 返済方法 60回以内で毎月割賦償還

(2) 利子の補給

利子の1/2を市で補助（返済完了後）

(3) 利子の補給融資支払状況

年度	融資件数	融資額	利子補給件数	市補助額
22	0	0	3	44,820
23	0	0	1	26,803
24	0	0	2	40,153
25	0	0	3	46,249
26	0	0	0	0
27	0	0	0	0
28	0	0	0	0
29	0	0	0	0
30	0	0	0	0
R1	0	0	0	0

## 7. 受益者負担金

土地の面積 1 m <sup>2</sup> 当たり (多治見・市之倉処理区)	178.34円 (第1期事業区域) 210円 (第2期事業区域) 240円 (第3期事業区域) 270円 (第4期事業区域) 270円 (第5期事業区域) 270円 (第6期事業区域) 270円 (第7期事業区域)
1 単位当たり (笠原処理区)	300,000円

## 8. 使用料金

(下の表により算定した額に消費税率10%を乗じて得た額：1円未満切り捨て)  
(令和2年3月31日現在)

使用区分	料金区分	排水量	使用料額
一般用	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,200円
	従量料金	11m <sup>3</sup> 以上30m <sup>3</sup> 以下	1 m <sup>3</sup> につき 130円
		31m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 以下	1 m <sup>3</sup> につき 175円
		51m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 以下	1 m <sup>3</sup> につき 210円
		101m <sup>3</sup> 以上	1 m <sup>3</sup> につき 240円
公衆浴場用	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,200円
	従量料金	11m <sup>3</sup> 以上	1 m <sup>3</sup> につき 40円

### 井戸水等の使用水量認定基準

- ・一般家庭 1人7m<sup>3</sup>/月 2人13m<sup>3</sup>/月 3人19m<sup>3</sup>/月 4人23m<sup>3</sup>/月  
5人27m<sup>3</sup>/月 5人を超え1人増すごとに3m<sup>3</sup>/月を加算  
水道水と井戸水等を併用している場合は、どちらか多い使用水量で算定
- ・一般家庭以外 計測器(時間計)または水道メーターの計量により得た水量

## 9. し尿処理関係

### ① し尿処理場施設概要

名 称	月見センター（平成2年3月竣工）
所 在 地	多治見市月見町3丁目73番地の2
敷地面積	7,681㎡
処理能力	61キロリットル／日
処理方法	標準脱窒素処理方式（低希釈法）

### ② し尿処理（令和2年3月31日現在）

ア 職員数	3名（うち臨時職員2名）
イ 対象件数	1,590件（一般家庭及び事業所等）
ウ し尿処理状況	

搬入1日平均処理状況（平成31年度実績） 9.63キロリットル（生し尿）

### ③ し尿処理世帯数・人口

（各年度：3月31日現在）

年度	行政区域内		一般家庭処理	
	世帯数	人口	世帯数	人口
23	44,080	115,802	1,939	4,344
24	44,472	115,178	1,907	4,106
25	44,806	114,457	1,804	3,786
26	45,104	113,718	1,743	3,489
27	45,435	112,891	1,570	3,328
28	45,824	112,145	1,499	3,179
29	46,227	111,292	1,404	2,928
30	46,582	110,598	1,331	2,744
R1	47,030	109,816	1,250	2,557

### ④ し尿・浄化槽汚泥処理状況

（単位：キロリットル）

年度	生し尿処理量	浄化槽汚泥処理量	計
23	4,299	7,563	11,862
24	4,075	7,407	11,482
25	3,559	7,015	10,574
26	3,113	6,633	9,746
27	2,893	6,824	9,717
28	2,754	6,809	9,563
29	2,634	6,945	9,579
30	2,467	6,595	9,062
R1	2,291	6,332	8,623

⑤ し尿処理手数料（内税 令和2年4月1日現在）

ア 定額制（一般家庭）

区 分	手 数 料
定 額 料 金	1人月額 660円
割 増 料 金	月2回以上収集2回目より1回につき 680円
	ホース延長40mを超える場合1回につき 680円
	便槽数2カ所以上2カ所目より1カ所につき 340円

イ 従量制（簡易水洗式及び不特定多数の者が使用する事業所等）

区 分	手 数 料
従 量 料 金	18リットル又はその端数ごとに 300円

ウ 仮設便所（工事現場等で一時的に使用するもの）

区 分	手 数 料
チケッ制	1基（集合便槽等特殊なものは便器1つ）につき1回ごとに4,190円

⑥ 浄化槽汚泥収集運搬 許可制（3業者）

## 10. 合併処理浄化槽

多治見市では生活排水による中小河川の汚れを少なくするために、家庭から出るすべての水（台所・風呂・トイレ等）を処理する合併処理浄化槽を新しく設置する家庭に昭和63年4月1日から補助金を交付している。

① 対象浄化槽

し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽で、生物化学的酸素要求量（BOD）の除去率90%以上であり、放流水のBOD20mg/リットル（日間平均値）以下の性能を有する浄化槽。（新築等を除く）

② 対象地域

下水道事業認可区域以外及び農業集落排水事業対象地域以外の地域

③ 補助金額（令和2年3月31日現在）

浄化槽人槽	補 助 金 額
5人	332,000円
6～7人	414,000円
8～50人	548,000円

## 11. 下水道事業会計決算の推移

(単位：千円) 税抜き

款 項		年 度				
		27	28	29	30	R1
収益的 収入	下水道事業収益	—	—	—	—	3,514,951
	営 業 収 益	—	—	—	—	2,079,105
	営 業 外 収 益	—	—	—	—	1,435,648
	特 別 利 益	—	—	—	—	198
収益的 支出	下水道事業費用	—	—	—	—	3,365,310
	営 業 費 用	—	—	—	—	3,048,668
	営 業 外 費 用	—	—	—	—	283,971
	特 別 損 失	—	—	—	—	32,671
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入	—	—	—	—	755,082
	企 業 債	—	—	—	—	488,100
	国 庫 補 助 金	—	—	—	—	163,107
	他 会 計 補 助 金	—	—	—	—	55,376
	受 益 者 負 担 金	—	—	—	—	32,032
	分 担 金	—	—	—	—	13,467
	そ の 他 資 本 的 収 入	—	—	—	—	3,000
資 本 的 支 出	資 本 的 支 出	—	—	—	—	1,853,092
	下 水 道 建 設 改 良 費	—	—	—	—	773,826
	企 業 債 償 還 金	—	—	—	—	1,076,266
	そ の 他 資 本 的 支 出	—	—	—	—	3,000

※下水道事業会計は令和元年度から地方公営企業法全部適用に移行しました。